

公智神社神輿殿

コウチジンジャミコシデン



指定日：昭和49年(1974)3月20日 種別：建造物

桁行三間、梁間二間方形の堂で、柱間は横板羽目、正面中央間に両引戸、南側面前の間に片引戸を建つ。面取画方柱(1:10)、舟肘木(下端面取り)など、簡素な手法の中にも時代の特色をよく示している。後壁中央間の下方と床面に須弥壇の痕跡をとどめている。社蔵の古図をみると、本殿を中心にして向かって右に釈迦堂、左に観音堂を配し、それぞれ東面して建っている。今の旧神輿殿は釈迦堂の後身であり、それが神輿殿と呼ばれるようになったのは明治以降のことである。建立年代はあきらかではないが、室町時代末期であろう。